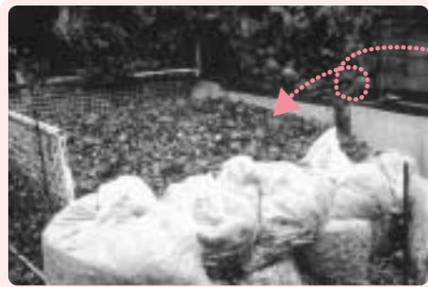


### まちのごみ減量アイデア部門 最優秀賞

テーマ 中学校の落ち葉を腐葉土に変えて菊を栽培し学校に提供



ご自宅にある腐葉土づくりの場。篠目中学校で集められた落ち葉をここに持ち運びます。その数はなんと大袋(写真参照)で450袋分。



落ち葉に水を打ち、発酵促進剤と米ぬかを混ぜたものをまく作業を何度も繰り返しながら積み重ねます。半年ほど熟成させると腐葉土の出来上がりです。



腐葉土は菊作りに使います。遠藤さんは下水処理場の汚泥から作った肥料「サカイカンピ」を利用するなど、リサイクル品を使って菊を栽培しています。栽培後の腐葉土は田畑の土に返します。



遠藤良和さん(篠目町)

篠目中学校の生徒さんたちが校内を掃除して出た落ち葉などを集めて、腐葉土に変え、菊の栽培に使用しています。中学生にも腐葉土の作り方を覚えてもらい、校内の園芸にも使用されています。腐葉土もたくさんでき、町内の菊の愛好家にも提供し、その輪も広がってきました。

### わが家のごみ減量アイデア部門 最優秀賞

テーマ 小さな紙も資源回収に出しやすいように紙袋を部屋中に用意



家族の動線上やよくいる場所(台所や居間、子ども部屋)の、すぐ手の届くところに紙袋や紙封筒を置きます。これに雑がみ(下枠記事参照)を入れていきます。



回収作業をする人のことも考えて、大きな紙袋は二つ折りにして、紙ひもで縛って「雑誌類」として資源回収へ出します。



松原明子さん(安城町)

地球から緑がどんどん減っています。何年かかかって育った木、そして自然環境を少しでも守るために私たちのできることの一つが、「古紙回収」。再生できる紙は集めると本当にとくさんあります。わが家は3人家族で、1か月に紙袋3~4袋、12kgほどたまります。小さな子でもやり方をすぐ覚えることができますよ。

### 粗大ごみなどを運ぶための軽トラックを貸し出します！

粗大ごみや多量ごみを自分で処理施設へ持ち込みたくても、運ぶための車がないという市民を対象に軽トラックを貸し出します。

- 利用できる人 市内在住で、家庭から出るごみを処理施設へ搬入する人
- 処理施設 環境クリーンセンター、リサイクルプラザ、せん定枝リサイクルプラント、清掃事業所
- 利用できる日時 月~金曜日(祝日含む。年始年末を除く)⇒「午前9時~正午」または「午後1時~4時」(半日単位で貸し出し)  
毎月第3日曜⇒「午前9時~正午」
- 利用料金 走行距離に応じて、下記料金をお支払いいただきます。

延走行距離	0~10km	11~15km	16~20km	21~25km	以降5kmごと
料金	200円	300円	400円	500円	100円

●申し込み方法 事前に環境保全課(☎76)3053/清掃事業所内/堀内町西新田2番地)へ電話予約をしてください。予約は利用日の1か月前から受け付けます。利用当日は、運転する本人が免許証を持参の上、同課へお越しください。

- その他
- ①ごみを処理施設へ運搬すること以外の目的(引っ越しなど)で利用することはできません。
- ②許可を受けた運転者以外の人は運転してはいけません。
- ③自動車は清掃して返却してください。



●貸し出し車両(オートマチック車)

### 雑がみは各リサイクルステーションへ！



○ **雑がみで持ち込みできるもの**  
投げ込みチラシ、パンフレット、コピー紙、包装紙、紙袋、紙箱など  
※はがき・封筒についているシールや窓枠フィルムなど紙以外の部分は切り取ってください。

✕ **雑がみで持ち込みできないもの**  
防水加工された紙(紙コップ、ヨーグルト容器など)、カーボン紙、圧着はがき、感熱紙、アルミ箔付き、臭いのついた紙(石けんの包装など)、転写紙、汚れた紙など

No.	リサイクルステーションの場所
①	J A あいち中央安城支店南隣
②	作野公民館東隣
③	ラ フーズコア三河安城店西駐車場
④	ホームエクスポ安城店東駐車場
⑤	アピタ安城南店南隣

■桜井リサイクルステーションが1月30日(火)からアピタ安城南店の南に移転  
※現在の城山保育園南は1月21日(日)まで利用できます。移転のため1月22日(月)~29日(月)は利用できません。